

肝炎・肝癌研究者を対象とする研究助成金の交付事業

肝疾患に関する基礎・臨床分野でその研究成果が肝疾患の成因と治療・予防に有用な影響を与えると評価・期待される優れた研究者、研究グループを研究助成金選考委員会で審議・選考し、理事会で決定して研究助成金の交付を行っています。

年度	氏名	所属	テーマ
令和3年度	奥新 和也(おくしん かずや)	東京大学医学部附属病院 感染制御部	胆汁酸トランスポーター遺伝子改変マウスを活用したNASH病態の解明
	安井 豊(やすい ゆたか)	武蔵野赤十字病院 消化器科	進行肝細胞癌患者における薬物療法中の末梢血免疫チェックポイント分子濃度の意義

医学功労者の顕彰事業

ウイルス性肝炎の研究、治療、治癒に貢献し、その功績が著しいまたは特に顕彰することが適当と認められる個人、団体を企画運営委員会で討議・決定し、理事会の承認を得て顕彰しています。

年度	氏名	所属	功績
令和3年度	清水 勝(しみず まさる)	元東京女子医科大学教授	輸血医療対策と輸血後肝炎予防策に対する貢献